

2025年度後期 開講学科別集計結果表

常葉大学

開講学科	学校教育課程	履修者数	1,962
------	--------	------	-------

回答者数	1,301
------	-------

学年 マーク	回答者数／構成比 (%)				
	1年	2年	3年	4年	無効回答
	363	529	321	88	0
	27.9	40.7	24.7	6.8	0.0

No.	設問文	平均	回答者数／構成比 (%)					有効 回答	無効 回答
			5 とても そう思う	4 やや そう思う	3 どちらとも いえない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない		

▼全学部共通の質問項目

1	学修環境（プロジェクタ・音響・空調・照明・静粛性）は良好であった	4.46	721 55.4	495 38.0	59 4.5	19 1.5	7 0.5	1,301	0
2	クラスサイズ（受講者数）やグループサイズは適切であった	4.48	761 58.6	438 33.7	71 5.5	22 1.7	7 0.5	1,299	2
3	周りの学生の熱意が感じられた（熱心に授業に参加していた）	4.23	581 44.7	512 39.4	147 11.3	49 3.8	11 0.8	1,300	1

▼学部レベルの質問項目

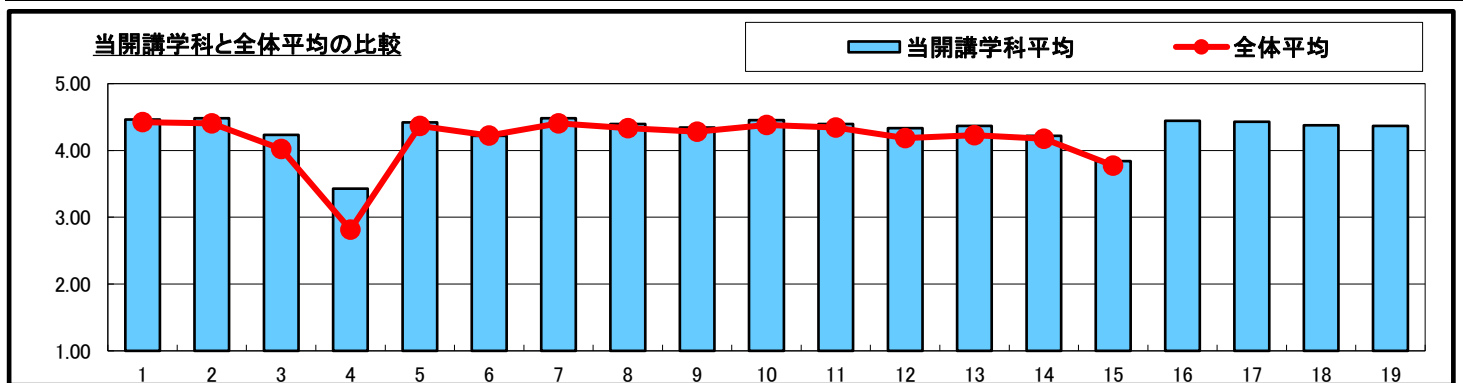
4	この授業に対する授業時間外学修にどの程度の時間を費やしましたか（1回の授業の前後）	3.43	2時間以上 277 21.3	1時間以上 2時間未満 379 29.1	30分以上 1時間未満 366 28.1	30分未満 184 14.1	全くして いない 95 7.3	1,301	0
5	シラバスに則した内容の授業が行われていた	4.42	694 53.3	483 37.1	105 8.1	15 1.2	4 0.3	1,301	0
6	この科目の難易度は適切であった	4.22	560 43.1	545 42.0	130 10.0	49 3.8	15 1.2	1,299	2
7	この科目は学部・学科の学びを深める上で有益であった	4.48	743 57.3	467 36.0	63 4.9	14 1.1	9 0.7	1,296	5
8	この科目は自らのキャリア形成や将来を考える上で役立った	4.40	703 54.1	456 35.1	104 8.0	27 2.1	10 0.8	1,300	1
9	【対面授業の場合】 この科目は対面で受講することが適切であった 【ポータルサイト等を活用した授業（オンライン授業）の場合】 この科目はオンラインで受講することが適切であった	4.34	732 56.5	390 30.1	95 7.3	47 3.6	32 2.5	1,296	5

▼教員個人レベルの質問項目

10	教員の話し方は明瞭で聴き取りやすかった	4.45	767 59.0	406 31.3	88 6.8	25 1.9	13 1.0	1,299	2
11	板書、スライド、配布資料などは適切であった	4.39	712 55.0	443 34.2	92 7.1	34 2.6	14 1.1	1,295	6
12	学生に質問や意見を求める、発表の機会を設けるなど授業への参加を促していた	4.33	681 52.5	428 33.0	141 10.9	33 2.5	14 1.1	1,297	4
13	学生の反応や理解を確認しながら授業を展開していた	4.37	684 52.7	466 35.9	106 8.2	26 2.0	16 1.2	1,298	3
14	必要に応じて学生の受講態度への注意を適切に行っていた	4.22	606 46.6	451 34.7	185 14.2	39 3.0	20 1.5	1,301	0
15	この授業のシラバスを読みましたか	3.84	十分に 読んだ 388 29.8	よく読んだ 523 40.2	どちらとも いえない 239 18.4	ほとんど 読まなかった 98 7.5	全く読んで いない 53 4.1	1,301	0

▼学科設問

16	この授業の学修を通して、関連の資格・免許状にかかわる資質・能力を高めることができた	4.44	716 55.1	481 37.0	76 5.9	14 1.1	12 0.9	1,299	2
17	この授業の学修を通して、教育に必要な実践や取組への理解を深めることができた	4.43	707 54.5	480 37.0	84 6.5	17 1.3	10 0.8	1,298	3
18	この授業の学修を通して、教育に関わる理論や研究への関心を高めることができた	4.38	661 50.8	511 39.3	94 7.2	23 1.8	11 0.8	1,300	1
19	この授業の学修を通して、教育に関わる技術やノウハウを身に付けることができた	4.37	662 50.9	511 39.3	88 6.8	23 1.8	16 1.2	1,300	1



2025 年度後期授業アンケート 学科別集計結果表に対する講評

学科／課程	学校教育課程
講評者	学校教育課程長 濱川 栄

設問	講評
設問 1～3 「全学部共通の質問項目」について	いずれも大学全体の平均値より数値が高く、学修環境・クラスサイズに対して不満を抱いている学生が少ないことがわかった。 設問 3「周りの学生の熱意が感じられた（熱心に授業に参加していた）」の数値が大学全体の平均より 0.21 ポイント高かった。前期の 0.30 ポイントより差が縮まったが、以前本課程の学生全体の学修意欲が高いことが証明された。この傾向を維持したい。
設問 4～9 「学部レベルの質問項目」について	設問 4「この授業に対する授業時間外学修にどの程度の時間を費やしましたか」は常に低めの数値が出るが、今年の後期の本課程の数値は 3.43（前期は 3.56）であり、若干数値が落ちた。しかし、大学全体の平均 2.81（前期は 2.85）より 0.62 ポイント（前期は 0.71）上回っている。大学全体に比べれば本課程の学生の授業外学修時間は多めだとは言える。しかしもちろん十分なレベルではない。他の設問の評価は大学全体の平均と概ね一致しているが、「難易度」などもっと改善できるところはある。
設問 10～15 「教員個人レベルの質問項目」について	全ての設問において大学全体の平均を上回っており、本課程の教員の取り組みが平均して学生に好意的に受け取られていることがわかる。しかし全体に前期の課程の平均より数値が下がっている点は気になる。学生・教員の双方に前期よりも「慣れ」や「ゆるみ」が生じ勝ちな部分があるのかもしれない。学生のモチベーションを保ち、高められるような授業を個々の教員が磨いていく必要がある。
設問 16～ 「学科設問」について（該当学科のみ）	どの設問に対する回答平均値も 4.3 以上であり、教員免許状の取得や教員になることを目指すうえで有益な授業が行われている、と学生に認識されている様子が見える。この傾向が今後も続くことを期待する。